

2005 ITU 三項鐵人世界錦標賽  
2005 ITU 三項鐵人世界錦標賽

# 記錄集



2005 Gamagori  
ITU Triathlon World Championships



Gamagori Japan

愛・地球博・パートナーシップ事業  
2005 ITU

# トライアスロン 世界選手権 蒲郡大会

オリンピックのメンバーが来日! これが世界のトライアスロンだ!!

9.10 (土) → 11 (日)

開催会場  
蒲郡競艇場  
観戦・村営行事  
ラグーナ蒲郡

- 10日① 8時- ジュニアトライアスロン(世界選手権) (女子)
- 10日② 10時- U23トライアスロン(世界選手権) (女子)
- 10日③ 11時- U23トライアスロン(世界選手権) (男子)
- 11日① 8時- ジュニアトライアスロン(世界選手権) (男子)
- 11日② 10時- エリートトライアスロン(世界選手権) (女子)
- 11日③ 11時- エリートトライアスロン(世界選手権) (男子)
- 11日④ アフタヌーン競艇開催

<http://www.gamagori.world-triathlon2005.com>

# 2005 Gamagori

ITU Triathlon World Championships

問合せ/世界選手権事務局 0533-67-3350 Eメール/tri-wog2005@peace.ocn.ne.jp





マイト・アレン (オーストラリア)  
 アジアオリンピック代表



スーザン・ウィリアム (アメリカ)  
 アジアオリンピック代表



スウェン・リーダー (スイス)  
 アジアオリンピック代表



西内洋行  
 アジアオリンピック日本代表



関根明子  
 アジアオリンピック日本代表



ロレンツォ・ロップ (オーストラリア)  
 アジアオリンピック代表



ピパントカチー (ニュージーランド)  
 アジアオリンピック代表



パティシエ・カーター (ニュージーランド)  
 アジアオリンピック代表



中西真知子  
 アジアオリンピック日本代表



高田清美  
 アジアオリンピック日本代表



田代寛孝  
 アジアオリンピック日本代表



世界のトップアスリートが蒲郡にやってくる

2005 ITU  
 トライアスロン  
 世界選手権  
 蒲郡大会

9.10 (土) 9.11 (日)

蒲郡競艇場

9.8 (木) アクアスロン世界選手権

電車でお越しの場合

JR東海線「蒲郡駅」(三河金沢駅)より徒歩約10分。  
 JR東海線「蒲郡競艇場前駅」下車。  
 「蒲郡駅」よりシャトルバスにて約15分。  
 「三河金沢駅」より徒歩約10分。

車でお越しの場合

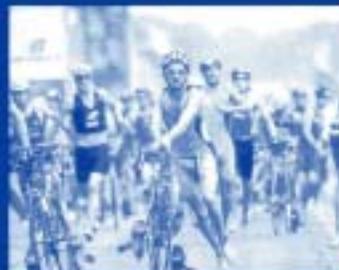
東名高速道路「岡崎IC」下車。国道1号を約10分。  
 「豊田IC」下車。東海道を約10分。  
 「豊田東IC」下車。アスリートロードを約10分。



2005 Gamagori  
 ITU Triathlon World Championships

世界選手権は  
 アジアで初の開催。  
 蒲郡で世界のスピードを  
 体感しよう。

オリンピック・スポーツの中でも、効率的な有酸素運動として評価が高まるトライアスロン。その世界選手権（男女種目別計8部門）が開催されます。国内外の10ヶ国を超える国から参加する選手は、エリート男女各80名、U23男女各70名、ジュニア男女各50名。各国での選考試合を勝ち抜いた選手たちが蒲郡に集結。このなかから世界ナンバーワンが決まります。あわせてアクアスロン世界選手権が開催されます。愛知万博のパートナーシップ事業としての各種催しも楽しみにです。2000年のシドニーオリンピックのモデルとなったワールドカップ蒲郡大会の実績が評価され、日本はもとよりアジアで初めて開催が認められました。蒲郡競艇場の観客席から、世界のスピードと迫力そしてドラマを目の前で体感してください。熱い感動がかけつけます。



トライアスロンとは...

1974年にアメリカ・サンディエゴで始まる。一人の選手が水泳・自転車・ランニングを連続して競技する。日本では1981年高松国際選手権開催。2000年シドニーオリンピックでデビュー。アジアオリンピックでも大成功を収めた。1995年ふじのくに競艇場でワールドカップを開催。競技・運営面ともに世界的な評価を受け、シドニーオリンピックのモデルとなった。2000年にはオリンピック選手を輩出したアジア選手権が開催された。競技距離はさまざまなタイプがある。今大会は「オリンピックディスタンス」でスイム1.5km、バイク42km、ラン10km。ジュニアは各種目ともに半分の距離。また、最後はフルマラソンを行うアイアンマンタイプがある。

# 大会概要

「スポーツ振興基金助成事業」

名 称	～愛・地球博パートナーシップ事業～ 2005ITUトライアスロン世界選手権蒲郡大会 (2005 ITU TRIATHLON WORLD CHAMPIONSHIP, GAMAGORI)
会 場	競技:蒲郡競艇場 催事・付帯行事:ラグーナ蒲郡・蒲郡商工会議所
主 催	2005ITUトライアスロン世界選手権蒲郡大会組織委員会 ( (社)日本トライアスロン連合、蒲郡市、東海テレビ放送)
公 認	国際トライアスロン連合(ITU)
主 管	2005ITUトライアスロン世界選手権蒲郡大会実行委員会
連携協力	(財)2005年日本国際博覧会協会
特別協賛	NTT西日本、トヨタ、ニデック
協 賛	NTT東日本、アシックス、ニューバランス、蒲郡信用金庫、あいおい損保、コロナビール、 リゾートトラスト、オルカ、愛知県遊技場共同組合、クオリティーイン蒲郡
特別後援	中日新聞社
後 援	(財)日本オリンピック委員会、(財)日本体育協会、愛知県、愛知県教育委員会、 愛知県モーターボート競走会
支 援	愛知県警察本部、蒲郡警察署、陸上自衛隊第10師団
協 力	蒲郡市消防本部、愛知県三河港務所、蒲郡市競艇事業部、蒲郡市民病院、山口県 日本赤十字社愛知県支部、(財)愛知県体育協会、蒲郡市体育協会、蒲郡市体育指導委員会、 沿線商店街組合、ラグーナ蒲郡、蒲郡市観光協会、三谷温泉観光協会、西浦温泉観光協会、他
テレビ放送	東海テレビ(9月19日(祝)14:10～15:25) NHK-BS1(10月16日(日)13:10～14:00) その他



愛知県遊技場共同組合

# 競技・付帯行事スケジュール

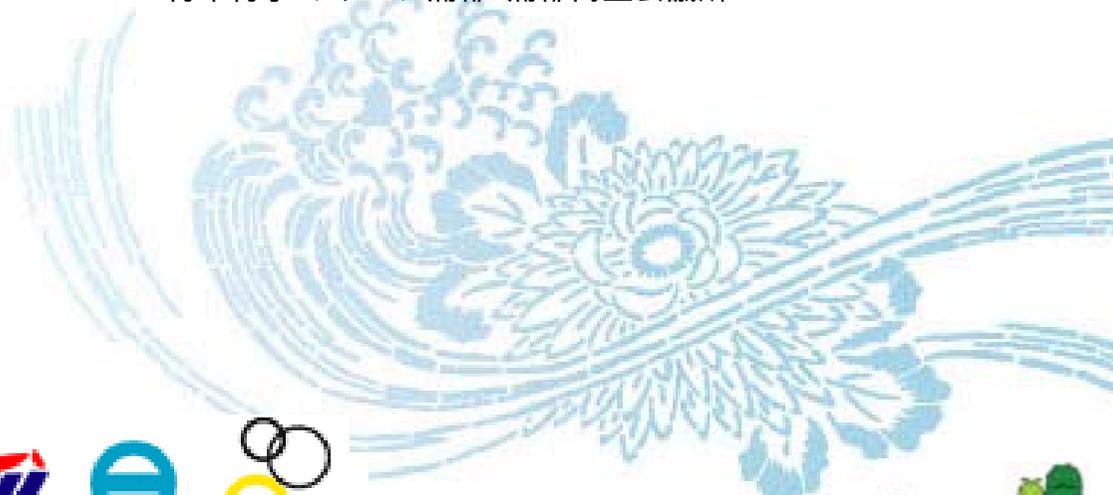
## 競技日程

9月8日(木)	19:00	アクアスロン世界選手権エリート女子
	19:45	アクアスロン世界選手権エリート男子
10日(土)	9:00	トライアスロン世界選手権ジュニア女子
	10:45	トライアスロン世界選手権U23女子
	13:30	トライアスロン世界選手権U23男子
11日(日)	9:00	トライアスロン世界選手権ジュニア男子
	10:45	トライアスロン世界選手権エリート女子
	13:30	トライアスロン世界選手権エリート男子

\* 世界選手権メモリアルアクアスロンin蒲郡 9月8日(木)17:30(対象:一般、中学生)  
 世界選手権メモリアルキッズアクアスロンinラグナシア 9月9日(金)18:00(対象:小学生)

付帯行事 9月8日(木) ITU理事会  
 9日(金) ITU総会  
 選手ウェルカムパーティー  
 VIPウェルカムパーティー  
 11日(日) 選手アワードパーティー  
 \* 8日(木)～11日(日) 近代オリンピックポスター展

会 場 競技:蒲郡競艇場 催事  
 付帯行事:ラグーナ蒲郡・蒲郡商工会議所



# 大会実績・開催経緯

参加国数	42ヶ国
参加選手数	トライアスロンエリート 女子51名、男子77名、 U23 女子39名、男子66名、 ジュニア 女子54名、男子70名 アクアスロンエリート女子7名、男子14名 (一般40名、中学生3名、キッズ50名)
関係者数	本部スタッフ 52名、蒲郡市関係スタッフ 84名、愛知県協会スタッフ 52名 JTU全国支援スタッフ 37名、メディカルスタッフ 19名、自衛隊動員 24名 警察動員 60名 競技ボランティア総数 465名、通訳ボランティア 65名、式典出演者 170人
観客動員	9月10日(土) 15000人(主催者発表) 9月11日(日) 38000人(主催者発表)
組織委員会開催	3回(平成16年4月20日、9月25日、平成17年11月11日)
実行委員会開催	4回(平成16年6月12日、平成17年4月28日、7月29日、11月11日)
事務局会議開催	20回
大会事務局開設	平成16年2月(鈴木貴里代事務局員着任) 平成16年4月(酒井、岡田事務局員着任) 平成16年12月(水畑競技マネージャー着任) 平成17年8月(河原崎事務局員着任)

## 大会開催までの経緯

平成12年12月	誘致表明
平成13年4月	立候補
平成14年10月	世界選手権カンクン大会にて大会誘致活動(せんべい、ハッピー配布等) ITU総会にて開催決定
平成15年3月	記者発表
12月	世界選手権クィーンズタウン大会(ニュージーランド)視察
平成16年5月	蒲郡市酒井体育課長(当時)、喜多村補佐ら 世界選手権マデイラ大会(ポルトガル)にて金原市長スピーチ 通訳ボランティア英会話教室開講
12月	ITU総会(カナダ)にて大会準備状況説明、大会PR
平成17年1月	広報がまごおりにコラム掲載(8月特集まで)し大会のPRを行う
3月	三河湾健康マラソンに仮装して参加し大会PRを行う 世界選手権ホームページ開設 第2期通訳ボランティア英会話教室開講
5月	愛知万博会場へ蒲郡市役所から自転車にて市長の親書を届ける
8月	愛知万博蒲郡Dayにて大会PR

## 2005ITUトライアスロン世界選手権蒲郡大会 組織委員会役員

- 名誉総裁 : 高円宮妃久子殿下  
 名誉会長 : 愛知県知事 神田真秋  
 特別顧問 : トヨタ自動車株式会社名誉会長 豊田章一郎  
 顧問 : 盛田株式会社名誉会長 盛田和昭  
 (財)2005日本国際博覧会協会副会長 坂本春生  
 (財)日本体育協会会長 森喜朗  
 (財)日本オリンピック委員会会長 竹田恒和  
 衆議院議員(愛知14区) 鈴木克昌  
 参議院議員 浅野勝人  
 参議院議員 鈴木政二  
 参議院議員 木俣佳丈  
 参 与 : (財)2005日本国際博覧会協会事務総長 中村利雄  
 (財)愛知県体育協会会長 後藤淳  
 愛知県副知事 森徳夫  
 会 長 : (社)日本トライアスロン連合会長 猪谷千春  
 副 会 長 : 歓迎市民委員会会長(蒲郡市長) 金原久雄  
 (社)日本トライアスロン連合副会長 三宅義信  
 委 員 : (社)日本トライアスロン連合理事長 荒井憲二  
 (社)日本トライアスロン連合国際広報委員 リサ・ステックマイヤー  
 (社)日本トライアスロン連合顧問 村上尤一  
 愛知県トライアスロン協会会長 國分孝雄  
 愛知県教育委員会教育長 伊藤敏雄  
 (財)2005日本国際博覧会協会事務局経営本部長 藤田昌央  
 蒲郡海洋開発(株)取締役社長 伊藤巖  
 蒲郡国際交流協会会長 小澤秀雄  
 蒲郡市助役 足立守弘  
 蒲郡市教育委員会教育長 平岩尚文  
 監 事 : 蒲郡市収入役 富田忠男  
 (社)日本トライアスロン連合監事 秋山昭八

## 2005ITUトライアスロン世界選手権蒲郡大会

# 実行委員会役員

- 顧問：愛知県議会議員 大竹正人  
蒲郡市市議会議長 中野房子  
蒲郡市商工会議所会頭 小澤秀雄  
蒲郡ロータリークラブ会長 志賀弘嗣  
蒲郡ライオンズクラブ会長 酒井好夫  
蒲郡マリンライオンズクラブ会長 夏目憲行  
蒲郡警察署長 甲斐信六  
蒲郡海上保安署長 石川友幸  
三河航路標識事務所長 西山允隆  
豊橋税関支署蒲郡出張所長 石原太  
愛知県三河港務所蒲郡出張所長 柴田丈夫  
愛知県東三河建設事務所長 伊藤忠  
蒲郡市体育協会副会長 杉浦行宏  
陸上自衛隊第10師団長 井上廣司
- 委員長：愛知県トライアスロン協会会長 國分孝雄  
副委員長：(社)日本トライアスロン連合理事長 荒井憲二  
蒲郡市教育委員会教育部長 足立和彦  
愛知県トライアスロン協会副会長 竹内元一
- 委員：蒲郡海洋開発(株)常務 岩本孝一  
(社)日本トライアスロン連合理事 大塚眞一郎  
(社)日本トライアスロン連合理事事務局長 中山正夫  
(社)日本トライアスロン連合事業広報副委員長 高崎聡  
(社)日本トライアスロン連合事業広報副委員長 宮本光広  
(社)日本トライアスロン連合事業広報委員 篠田雅司  
(社)日本トライアスロン連合事業広報委員 沼田英之  
(社)日本トライアスロン連合技術副委員長 水畑宏之

(社)日本トリアスロン連合理事 山倉紀子  
(社)日本トリアスロン連合理事 和田恵子  
(社)日本トリアスロン連合理事 荻野智満  
(社)日本トリアスロン連合理事 片桐勝一  
(社)日本トリアスロン連合理事 奈良島信泰  
(社)日本トリアスロン連合理事 則井克己  
(社)日本トリアスロン連合理事 荒川勝  
(社)日本トリアスロン連合理事 渡邊仁  
(社)日本トリアスロン連合理事 亀井清光  
(社)日本トリアスロン連合理事 川崎寛典  
(社)日本トリアスロン連合理事 加納修二  
愛知県トリアスロン協会専務理事 吉田隆雄  
愛知県トリアスロン協会理事長 酒井吉信  
愛知県トリアスロン協会副理事長 滝正秀  
愛知県トリアスロン協会副理事長 加藤高峰  
愛知県トリアスロン協会副理事長 諸藤裕之  
愛知県トリアスロン協会事務局長 鈴木貴里代  
愛知県トリアスロン協会理事 星野喜宣  
蒲郡市企画部長 草次英夫  
蒲郡市総務部長 山本繁明

## <事務局>

事務局長 : 蒲郡市教育委員会体育課長 井上昇三  
事務局次長 : 愛知県トリアスロン協会事務局長 鈴木貴里代  
事務局次長 : 蒲郡市教育委員会体育課長補佐 喜多村真人  
事務局員 : 蒲郡市教育委員会体育課主査 鵜飼章次  
蒲郡市教育委員会体育課嘱託 酒井昭吉  
蒲郡市教育委員会体育課嘱託 岡田隆行  
新東通信 剣持和成

# 国際トライアスロン連合 (ITU) レス・マクドナルド会長からのメッセージ



蒲郡トライアスロン世界選手権大会の開催にあたり、選手の皆さんにご挨拶を申し上げます。”日出ずる国”日本へようこそお出でくださいました。これまで何年もの間に改善を重ねられたこのトライアスロンコースは、皆さんによく知られています。スイムコースは、これまでのように何千人も熱心な観客が集まる競艇場スタジアムで行われ、大型映像スクリーンは、競艇場から外に出てまた戻るバイク、ラン競技を克明に映し出します。大会には、トライアスロンの熱心な支援者であり国際的な進展を見守っていただいている高円宮久子妃殿下のご臨席を賜り、とても栄誉なことでございます。そして、日本トライアスロン連合の会長、ITUの副会長である猪谷千春氏は、新たにOC副会長として私たちを迎えてくれます。先の7月にシンガポールで開催されたIOC総会でこの重要なポジションに選ばれました。このことは、オリンピックのメダリストである彼にとっても重要ですが、私たちITUファミリーにとっても同様に重要なことです。

さて、ここで開催されるITU総会では、私たちの将来について議論し指針について話し合うつもりです。そして、選手たちにとっての”総会”といえるアスリートブリーフィング(9月9日開催)では、男女各5名の選手委員(任期2年)が選出され、その中のエリート女子選手1名がITU理事に就任します。エリート、U23、ジュニアの世界最高の選手たちが蒲郡に集まります。

ハンブルグ・ワールドカップの後のITUランキングの女子トップ5は;

1. アナベル・ルクスフォード(オーストラリア)
2. サマンサ・ワリナー(ニュージーランド)
3. エマ・スノーシル(オーストラリア)
4. 庭田清美(日本)
5. ミシェル・ディロン(英国)

男子では、サルフォード・ワールドカップと変わりませんが、次のとおりです。

1. ハンター・ケンパー(米国)
2. ティム・ドン(英国)
3. コートニー・アトキンソン(オーストラリア)
4. マシュー・リード(米国)
5. ビクター・プラタ(米国)

大会に参加する選手の皆さん。日本が主催の大会では伝統的にホスピタリティと礼儀正しさを感じることでしょう。ぜひ大塚眞一郎氏と鈴木貴里代さんに代表される主催者の皆さんに感謝の言葉をお忘れなく。

蒲郡市長と市議会の皆さん。このたびは世界選手権とITU総会の開催にご尽力下さり、心から御礼申し上げます。最後に、蒲郡大会の翌週に北京で開催されるワールドカップに参加される選手、コーチ、そして役員の皆さん。良い旅でありますように。そして”日出ずる国”を出発する前に、ぜひお寿司を味わってからお出かけください。

ITUトライアスロン世界選手権蒲郡大会  
組織委員会 会長  
社団法人 日本トライアスロン連合 会長



猪谷千春

第17回目を迎えるITUトライアスロン世界選手権大会の日本での開催にあたり、高円宮妃殿下のご臨席を賜り、愛知県蒲郡市で盛大に開催できますことをこの上なく光栄に存じます。ここにトライアスロンファミリーを代表し、改めて妃殿下をご歓迎申し上げますとともに、マクドナルドITU会長をはじめ、国内外から参加された多数の選手・関係者の皆様方を心から歓迎いたします。又、本大会の開催にあたり、金原久雄市長をはじめ蒲郡市の皆様から頂いた一方ならぬご支援・ご協力に対し、心より御礼申し上げます。

昨年のアテネ・オリンピックで実施されたトライアスロン競技は、テレビを通じ全世界に生中継されました。その結果、男女競技ともに予想を超える視聴率に恵まれ、日本国内だけでも一千万人以上の人たちがトライアスロン競技を観戦してくれたこととなります。私どもの大きな目標は、これまでの普及と強化を包括し、環境に優しい国民的スポーツへの発展です。そのためには、トライアスロンをより身近なスポーツと感じてもらえるように、全国の選手そして関係者が一人ひとりにこの魅力を語り続けなければなりません。

世界の主流スポーツと肩を並べられるほどに位置付けられるトライアスロン競技の発展は、全国47都道府県の加盟団体のご尽力そして将来の発展を見据えたスポンサー各社そして関係者の方々が、地域に根ざしたスポーツ文化として育成しようとする気持ちの結集といえます。そして、今大会ではジュニア、U23、エリートそしてアクアスロンそれぞれの男子女子計8部門の世界選権が開催されます。日本選手の活躍とともに世界40カ国余から集まるトップ選手たちとの競い合いに大いなるドラマを期待いたします。

来年2006年には、カタールのドーハで開催されるアジア大会にトライアスロン競技が初登場します。多様な言語そして文化が息づくアジアは、西欧諸国と比較すれば発展の途上にあるといえますが、45の国と地域のうち半分近い国々がトライアスロンを始めています。文化の根源がアジアにあったように、21世紀のスポーツはアジアでの興隆があってこそ国際スポーツとしての地位が定着し、国際親善そして世界平和に貢献するものです。

最後になりましたが、選手の皆様は今年一年間の大会を通じて立てた目標を達成されますようお願いしています。そして蒲郡市がトライアスロン・シティとして北京オリンピックへの原動力となっていたいだきたい思いです。そしてこの歴史に残る大会の実現に力強いご支援を頂いたNTT西日本、トヨタ自動車、ニデックを始めとするスポンサー各社そして大会主催関係者そしてたくさんのボランティアの方々に心よりの御礼を申し上げ大会の成功をお祈りいたします。



## 蒲都市長 金原久雄

ごあいさつ

2005ITUトライアスロン世界選手権蒲郡大会が、高円宮妃殿下のご臨席を賜り、盛大に開催できますことを光栄に存じます。ここに、開催地の蒲郡市民を代表してご挨拶申し上げます。

トライアスロン競技の最高峰といえる偉大な本大会が、山と海に囲まれた風光明媚な蒲郡市で開催されることを誇りに思っております。世界のトップアスリートが優勝にむかって繰り広げるドラマは、メイン会場の蒲郡競艇場コース周辺に詰め掛けた多くの観客を魅了することでしょう。

また、本大会の運営にあたって、コースやエイドなどをサポートしていただく多くのボランティア並びに市民の皆様の、暖かいご協力に深く感謝いたしております。この大会をとおして国際大会が身近となり、競技関係者と市民との交流が深まることを期待するとともに、本大会開催にご尽力いただきました多くの関係者の方々に感謝を申し上げますご挨拶とさせていただきます。

## 愛知県知事 神田 真秋



アジアで初めて開催されるトライアスロン競技の最高峰である「2005ITUトライアスロン世界選手権蒲郡大会」が、この愛知県において盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、国内外からのご来県の皆様を心から歓迎申し上げます。

豊かな自然に恵まれ、景色のすばらしい本県蒲郡市で開催される本大会は、スイム、バイク、ランの3種目で自己の体力と精神力の限界に挑戦する世界のトライアスリートの姿に、地元県民が直接触れることができる絶好の機会であります。

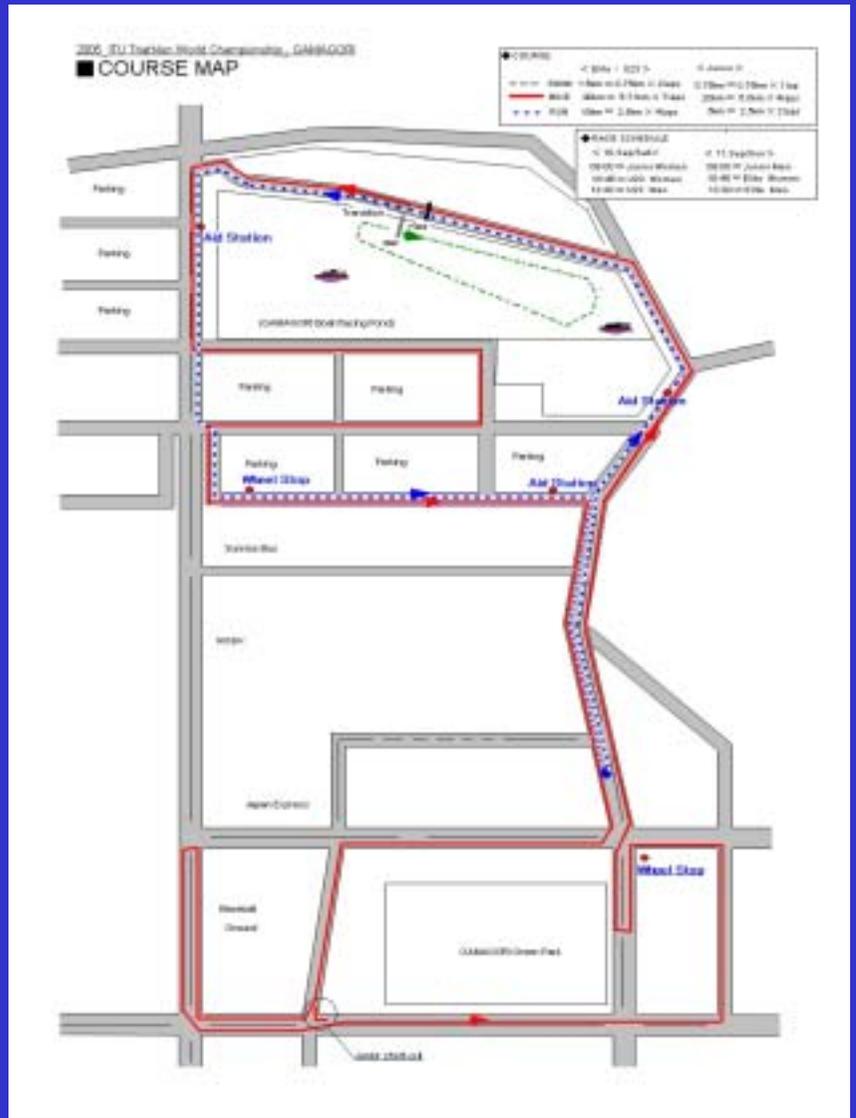
参加される選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮し、見る者の胸を熱くするような熱戦を展開していただくようご期待申し上げます。

さて、本年は中部国際空港(セントレア)と愛知万博の二大事業の成果を生かし、愛知がさらに世界に向けて飛躍を遂げるための第一歩を踏み出すことを、大いに念願する年であります。

こうした中、本大会のような国際的な大会が当地で開催されますことは、誠に意義深く、県民のトライアスロンひいてはスポーツそのものへの関心がさらに高まるものと期待しております。ぜひ、この大会を通じまして、参加される選手の皆様相互の交流はもちろんのこと、県民の皆様との交流の輪も広げていただきますようお願い申し上げます。

終わりに、本大会の開催にあたりご尽力されました関係者の方々に心から敬意を表しますとともに、大会の成功を祈念いたしましてごあいさつといたします。

# トライアスロンコース図



# アクアスロンコース図



# 9月5日(月) 公式スケジュールスタート

## 公式記者発表

2005ITUトライアスロン世界選手権蒲郡大会記者発表が東京渋谷の岸記念体育館で行われた。自国開催の絶好の機会に過去の世界選手権最高位(女子6位、男子9位 = とともに2004ポルトガル大会)を上回る記録を目標に最強日本選手団(監督:三宅義信)を結成し、発表。また、財団法人日本オリンピック委員会からも福田富昭強化本部長が日本選手団の激励を行った。



## 中部国際空港選手ウェルカムディスクオープン

すでに数カ国の選手団が蒲郡入りしているが、本日より一昨年からのこの世界選手権のために英会話教室に参加し準備を進めてくれた蒲郡市内を中心にした通訳ボランティアが海外からの選手を出迎えた。



## 蒲郡市民プールスイムトレーニング開始

8月末で営業をすでに終えた蒲郡市民プールを世界選手権参加選手のトレーニング会場として専用に開放。選手は長旅の疲れを感じさせない泳ぎで大会への最終調整を開始した。



## 6日(火) 選手関係者続々と蒲郡入り

### 蒲郡市立三谷中学校スイムトレーニング開始

弘法山北の三谷町にある三谷中学校が選手の練習会場として50m屋外プールを開放。昨年のアテネオリンピック金銀メダリストを有すニュージーランドチームも練習を行った。

### ITUレス・マクドナルド会長、ロリン・バネット技術代表ら蒲郡入り

大会に向け最終調整のため他のITUオフィシャルに先立ち、ITUレス・マクドナルド会長ら主要メンバーがエアカナダにて中部国際空港に到着。事務局鈴木が出迎え蒲郡に移動。移動後休む、まもなく市長を表敬訪問。大会成功へ向け固い握手を交わした。

### アスリートサービス、メディアサービス開始

蒲郡競艇場内にアスリートエリア、メディアルームが開設され、選手は準備されたインターネットスペースで家族や友人へのメールなどを楽しんだ。



# 7日(水) 台風14号日本海を北上。 九州から北海道の広い範囲で強風と雨

## 学校訪問中止

予定されていた学校訪問(塩津小・ブラジル、西部小・ポルトガル)は台風接近に伴う休校のため中止。児童、選手が楽しみにしていただけに残念な結果となった。また警報発令により市民プール、三谷中学校プールの閉鎖が懸念されたが関係各位の理解により、選手は練習を予定通り行うことができた。

## 中部国際空港閉鎖

また台風14号の影響で空港が閉鎖。一部選手到着が成田空港へと変更になり深夜対応に追われた。

# 8日(木) 世界初のナイターアクアスロン開催

## ITU理事会、専門委員会開催

蒲郡商工会議所でITU理事会、専門委員会が開催され各種プレゼンテーションや活発な意見交換が行われた。



ITU理事会、専門委員会  
(蒲郡商工会議所)



## チームマネージャーミーティング、ジュニア競技説明会

蒲郡競艇場オレンジホールにて各種ミーティングが行われた。チームマネージャーミーティングではバイク公式練習時間を確保するよう要望があったため、その後の調整でジュニアを除き両日ともジュニア競技終了から女子スタートまでの時間が確保された。

## スイム公式トレーニング開始

競艇場特設スイムコースでの試泳が行われ、選手は水温を確かめたり飛び込みの練習や実際のコースどりなどシュミレーションを行っていた。



## トライアスロンEXPO オリンピックポスター展開催

秩父宮スポーツ博物館の協力で「近代オリンピックポスター展」が競艇場で開催され、訪れた人は第1回オリンピック競技会(アテネ)から第28回オリンピック競技会(アテネ)までの公式ポスターの展示を楽しんだ。



## メモリアルアクアスロン(一般39名、中学生3名)

17:30アクアスロン世界選手権に先立ち42名の一般選手が1kmのスイムと5kmのランニングに挑戦した。エリートと同様にポンツーンからのスタートで参加選手は世界選手権の雰囲気をも十分に満喫していた。なお実行委員会からは竹内ドクター(JTUメディカル委員長)が出場した。





## アクアスロン世界選手権

7名が参加して19:00にした女子は第1ラン(3.34km)でチェコのレンカ・レンカがトップに立ち、日本の庭田ら4名が追う展開。スイム(1km)に入るとシーラ・タオルミナ(アメリカ)が実力を発揮し序盤からトップを奪うと後続をぐんぐん引き離し水からあがった。第2ラン(1.66km)ではスイムでのアドバンテージを活かしシーラが優勝。2位にはブラジルのモレノが入った。





女子優勝  
シーラ・タオルミナ (USA)



男子は14名の選手が19:45にスタート。第1ラン序盤からティム・ドン(イギリス)が飛ばし、4名が追う。スイムにはいってラン上位4名が順位を変えながらも上位で泳ぎきった。第1ランから快走を続けたドンが第2ランに入ってランラップ1位で逆転し見事優勝を飾った。  
参加選手は一様に声をそろえこんなファンタスティックな経験は初めて！涼しく、水面も明るく泳ぎやすかったと世界初の試みとなったナイトアクアスロンを評価した。





優勝  
ティム・ドン(GBR)



メモリアルアクアスロン優勝  
(左)山本奈央(愛知)  
(右)楠直人(神奈川)



左から2位カーラ・モレノ(BRA)、リチャード・スタナード(GBR)  
1位シーラ・タオルミナ(USA)、ティム・ドン(GBR)  
3位パウロ・ミヤシロ(BRA)、レンカ・ラドバ(CZE)



# 9日(金)高円宮妃臨席。華やかにウェルカムパーティー開催

## エリート・U23競技説明会

U23、エリートに参加する選手ならびにコーチらが出席し、競技説明会が行われた。過去のワールドカップにはない参加数でオレンジホールがあふれ、世界選手権の凄さを改めて感じた。選手、コーチらはコースやレース当日のタイムスケジュールの確認など準備に余念がなかった。



## ITU総会

ITU加盟国代表が一同に会し蒲郡商工会議所でITU総会が開催された。大会名誉総裁である高円宮久子妃殿下が臨席され各国を代表する理事、役員らにお言葉を述べられた。蒲郡金原市長も歓迎の意を表された。



## キッズメモリアルアクアスロン

蒲郡市内外から50名の小学生が集結。夕暮れのラグナシアでアクアスロン競技を楽しんだ。園内では選手パーティーも開かれており、国内外からのエリートと選手の拍手の中、会場をキッズ選手達は堂々の入場。エリート選手達からの熱い声援の中大人顔負けの白熱した戦いを繰り広げた。レース後半に降り始めた雨は表彰式の際には本降りとなったが、入賞選手は日本代表選手からメダルを受け取り未来への夢を膨らませていた。また選手達も子どもたちから応援の言葉をかけられ、健闘を誓っていた。







## 選手ウェルカムパーティー

ラグナシア内バシレオンには約300名の選手、関係者が集りウェルカムパーティーとキッズアクアスロンを楽しんだ。会場には高円宮久子妃殿下が臨席され選手達に激励のお言葉を述べられた。選手達は他の国の選手達と友好を深めたり、レースへの鋭気を養った。



# 日本選手団



## 2005ITUトライアスロン世界選手権蒲郡大会 日本代表選手

< IIT女子 >

関根明子・庭田清美・中西真知子・忽那静香・上田藍・志垣めぐみ

< IIT男子 >

山本淳一・細田雄一・山本良介・西内洋行・平野司・田山寛豪

< U23女子 >

田中敬子・秋月里沙・大松沙央里・太田麻衣子・長谷川麻弥・大河内智未

< U23男子 >

平松幸紘・馬立賢治・東野翔・犬堂太一・外山高広

< ジュニア女子 >

蔵本葵・菊池日出子・伊藤弥生・高島陽香・呼野詩織

< ジュニア男子 >

若杉麻耶文・比嘉和真・古川哲也・田村雅也・岡野祐作

< 監督 >

三宅義信 (JTU強化本部長)

## VIPウェルカムパーティー

ラグーンブルーで開催されたVIPパーティーは大会名誉総裁高円宮妃、大会名誉会長神田愛知県知事らを迎え、組織委員会役員、ITU各国代表ら100名余で華やかに行われた。



# 10日(土) トライアスロン世界選手権開幕

## オープニングセレモニー

高円妃殿下のご臨席を賜った世界選手権オープニングセレモニーは、蒲郡で活動する“響”の勇ましい太鼓の音を合図にスタートした。同じく地元体操チームの子ども達の踊りがセレモニーを盛り上げ、猪谷大会会長により高らかに開会宣言がなされた。



# 2005 Gamagori ITU Triathlon World Championships



## ジュニア女子(スイム0.75km/バイク20km/ラン5km)

9時に54名がスタートしたジュニア女子はジェニファー・スピデナー(アメリカ)賀後続を引き離しスイムをトップで終えた。8秒遅れでアナイス・モニッシュ(ポルトガル)らが続く。バイクではオーストラリア勢2名が追い上げ、さらに逃げてランへ突入するが、3位でバイクを追えたモニッシュが二人を追い上げ優勝した。



菊池日出子



伊藤弥生



高島陽香



呼野詩織



蔵本葵







ジュニア女子  
優勝  
アナイス・モニッシュ (POR)





2位レベッカ・スペンス(NZL)



1位アナイス・モニッシュ(POR)



3位メラニー・セクストン(AUS)



### U23女子(スイム1.5km/バイク40km/ラン10km)

10時45分にスタートしたU23女子は、サラ・マクラティ(アメリカ)が驚異的な泳ぎで後続を1分45秒も引き離しバイクへ移ると一人で逃げ始めた。日本人選手を含む6名が追い上げ、バイク終盤で第2集団がマクラティに追いついた。ランではニュージーランドのアンドレア・ヒューイットが逃げ切り優勝した。



大松沙央里



秋月里沙



田中敬子



太田麻衣子



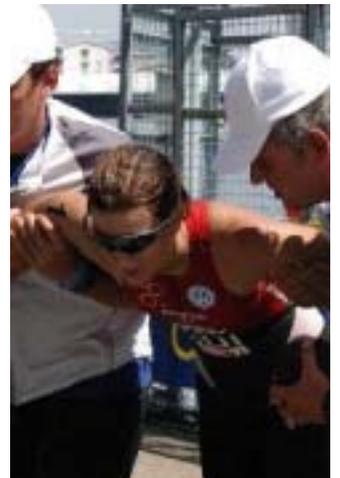
長谷川麻弥







U23女子 優勝  
アンドレア・ヒューイット(NZL)





1位アンドレア・ヒューイト(NZL)

2位ベンデュラ・フリントーワ(CZE)

3位ニコラ・スピリグ(SUI)



## U23男子(スイム1.5km/バイク40km/ラン10km)

13時30分にスタートしたU23男子はスイムトップ選手から1分以内に31名が入り、混戦が予想された。バイクでは序盤こそ4名の選手が逃げたが、中盤で35名の大集団に膨れ上がり、終盤で2名が逃げ出し44秒差をつけランへ。しかしこの2名はラン序盤で後退。代わってジャロッド・シューメイカーが抜け出し優勝した。









U23男子優勝  
ジャロッド・シューメイカー (USA)





平松幸紘



馬立賢治



外山高広



東野翔



犬童太一



2位ダニール・サプノフ(KAZ) 1位ジャロッド・シューメイカー(USA) 3位ベルトラント・ブーチ(FRA)



# 記者発表

17から行われた記者会見には、中西真知子選手と西内洋行選手が出席。レースへの意気込みを語った。



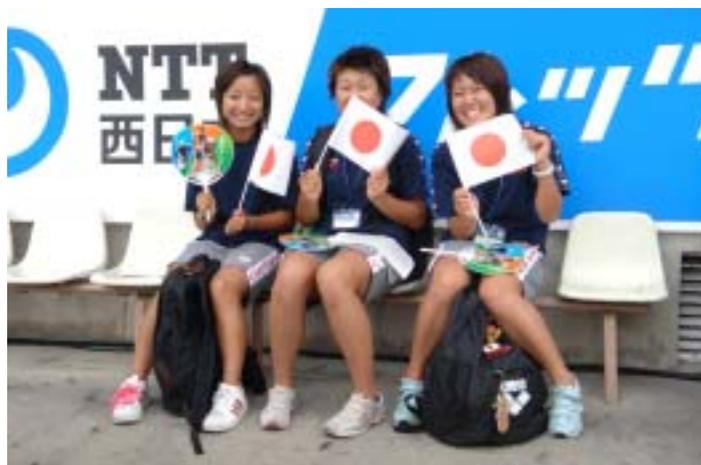
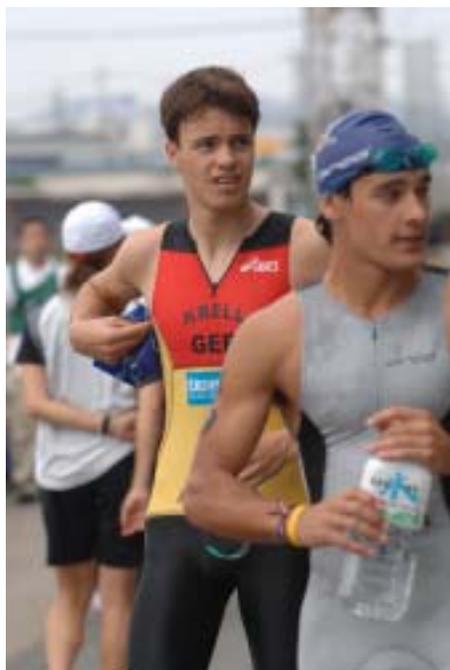


# 11日(日) トライアスロン世界最高峰

天候:曇、気温27度、水温28度

## ジュニア男子(スイム0.75km/バイク20km/ラン5km)

9時にスタートしたジュニア男子はジェームス・シーア(オーストラリア)がトップでスイムをフィニッシュ。バイクでは最終的に37名の集団ができランへと移った。ランでは序盤からスティーブ・デュプリンスキー(アメリカ)がトップに立ち、そのまま逃げ切って優勝した。









ジュニア男子 優勝  
スティーブ・ダプリンスキー (USA)



田村雅也



若杉麻耶文



岡野祐作



比嘉和真



古川哲也



1位スティーブ・ダブリンスキー (USA)



3位オレアン・ラファエル (FRA)



2位ジョナサン・ジップ (GER)



## エリート女子(スイム1.5km/バイク40km/ラン10km)

10時45分にスタートしたエリート女子はシーラ・タオルミナ(アメリカ)がトップでスイムを終えるものの直後に7名が追う展開。バイクではそこから3名が後退し5名が先行してランに飛び出したが、エマ・スノーシル(オーストラリア)がすぐにトップを奪って快走。そのまま2度目の優勝を飾った。スノーシルはレース後「よくコントロールされた大会で、湿気は多かったが走りやすかった」と語った。



関根明子



志垣めぐみ





中西真知子



庭田清美



忽那静香

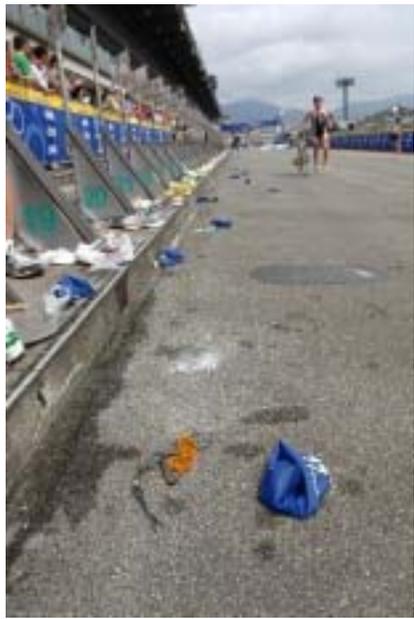


上田藍

















エリート女子 優勝  
エマ・スノーシル  
(AUS)



## エリート男子(スイム1.5km/バイク40km/ラン10km)

13時30分にスタートした男子はトップから1分以内に65名が水から上がった。バイク序盤から37名の第1集団ができ、周回を重ねるごとに集団は膨れ、終盤には59名の大集団となった。ランでは満を持したようにピーター・ロバートソン(オーストラリア)が飛び出し、徐々に後続を引き離し3度目の世界選手権優勝を果たした。



山本淳一



西内洋行



田山寛豪



平野司



細田雄一



山本良介















エリート男子 優勝  
ピーター・ロバートソン(AUS)





1位エマ・スノーシル(AUS)



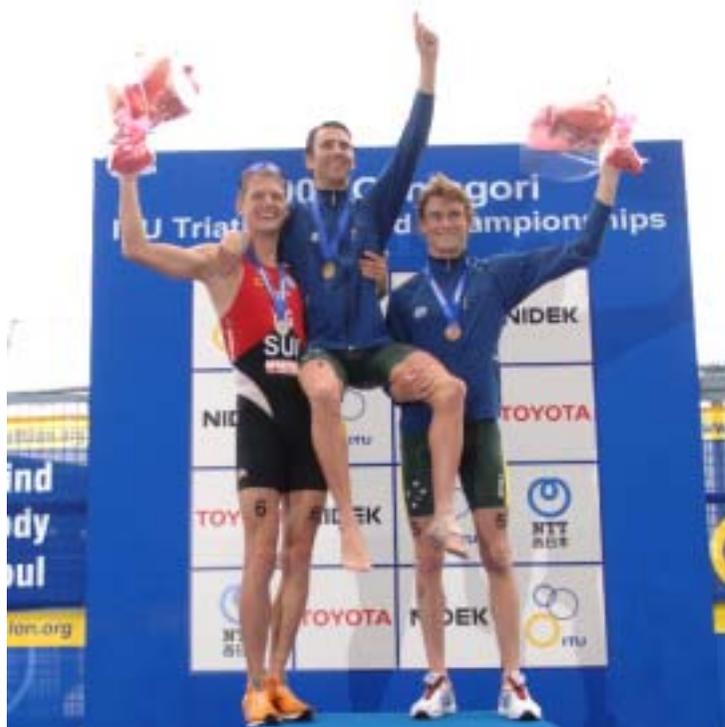
2位アナベル・ラックスフォード(AUS)

3位ローラ・ベネット(USA)



2位レト・フグ(SUI)

3位ブラッド・カーフェルト



1位ピーター・ロバートソン(AUS)



## アワードパーティー

ラグーナフェスティバルマーケットで開催されたアワードパーティーは400名の選手関係者が参加。地元太鼓チームの響の演奏やよさこいチームや国際交流協会の踊りなど日本の文化にも触れ、レースの余韻を楽しんだ。



しかし一部の選手が羽目を外し、備品の破損、ワゴンショップの菓子等の盗難、敷地内への排便等ご迷惑をおかけした。選手は特定できないがITUを通じ厳重に注意をうながした。この場を借りてお詫び申し上げたい。今後このようなことがないよう選手教育を徹底していきたい。

# 第1人者の意地



**アシア初開催のトライアスロン世界選手権は11日、愛知・蒲郡市周辺コースの51・5km(水泳1.5km、自転車40km、ランニング10km)であり、男女とも豪州勢が制した。男子はヒーター・ロバートソン、女子はエマ・スノーシルとともに2年ぶりの優勝。男女それぞれ6人が出場した日本勢は、女子で庭田游美**

**アシア初開催のトライアスロン世界選手権は11日、愛知・蒲郡市周辺コースの51・5km(水泳1.5km、自転車40km、ランニング10km)であり、男女とも豪州勢が制した。男子はヒーター・ロバートソン、女子はエマ・スノーシルとともに2年ぶりの優勝。男女それぞれ6人が出場した日本勢は、女子で庭田游美**

**世界選手権V  
男女とも豪州  
トライアスロン**

アシア初開催のトライアスロン世界選手権は11日、愛知・蒲郡市周辺コースの51・5km(水泳1.5km、自転車40km、ランニング10km)であり、男女とも豪州勢が制した。男子はヒーター・ロバートソン、女子はエマ・スノーシルとともに2年ぶりの優勝。男女それぞれ6人が出場した日本勢は、女子で庭田游美



余裕の表情でゴールインしたスノーシル(左)

アシア初開催のトライアスロン世界選手権は11日、愛知・蒲郡市周辺コースの51・5km(水泳1.5km、自転車40km、ランニング10km)であり、男女とも豪州勢が制した。男子はヒーター・ロバートソン、女子はエマ・スノーシルとともに2年ぶりの優勝。男女それぞれ6人が出場した日本勢は、女子で庭田游美

## 9月12日各社新聞切り抜き(一部抜粋)

### 庭田自己最高13位

アシア初開催のトライアスロン世界選手権は11日、愛知・蒲郡市周辺コースの51・5km(水泳1.5km、自転車40km、ランニング10km)であり、男女とも豪州勢が制した。男子はヒーター・ロバートソン、女子はエマ・スノーシルとともに2年ぶりの優勝。男女それぞれ6人が出場した日本勢は、女子で庭田游美



庭田游美

アシア初開催のトライアスロン世界選手権は11日、愛知・蒲郡市周辺コースの51・5km(水泳1.5km、自転車40km、ランニング10km)であり、男女とも豪州勢が制した。男子はヒーター・ロバートソン、女子はエマ・スノーシルとともに2年ぶりの優勝。男女それぞれ6人が出場した日本勢は、女子で庭田游美

# 12日(月) 帰国の途へ

レースを終えた選手達はそれぞれの思いを胸に故郷へ、次の戦いの地へと旅立っていった。



# その他特記事項・大会後記

全国から約70名の支援スタッフ、審判等とあわせ日本のトライアスロン界の力が集結した。

山口県より2001年ワールドカップ山口大会で作成、使用したバイクラック等器材(安全マット300枚、人工芝600㎡、バイクラック85台、コーンパー200本)を借用した。

全体に蒸し暑い環境の中であったため軽度の脱水症状でフィニッシュ後倒れる選手が数名あったが、日本赤十字社、蒲郡市民病院はじめJTUメディカルチームの迅速な対応がなされた。(熱中症5名、バイク転倒によるケガ2名)

当初宿泊の不足が心配されたが国際交流協会の呼びかけで20軒のホームステイ受け入れがあり大変感謝している。受け入れていただいた選手、関係者達は各々非常に喜び感謝していたことは言うまでもないが、受入れていただいた方々も片言の英語やボディーランゲージでコミュニケーションを楽しみ、いい思い出ができたと言っていた。

スケジュール開始直後は岡崎、湖西に宿泊していた選手等からは会場への輸送方法やスケジュール等でのクレームがあったが、通訳ボランティアやスタッフの協力で順次対応し、選手たちも喜んでいました。

宿泊に関しては各ホテルに滞在中の諸注意を貼ったり、連絡先などを伝えてあったが言葉が通じなかったり、生活習慣の違いから一部トラブルがあったことが残念だったが、最終的には宿泊施設からも理解を得られた。

宿泊施設への注意書き貼りだしや公式行事のすべての機会を通じ選手にはバイク練習時の交通ルールやマナーの徹底を呼びかけたが蒲郡警察署に1日数件の苦情があった。

11日エリート男子のレースの際、バイクから落車した選手と観客の方が接触したが幸い軽い打撲と擦り傷であり大会保険にて対応済み。怪我をされた方は反対に大会側の対応に恐縮してみえた。

1年以上前から通訳ボランティアを希望し英会話教室に参加された方たちは、DVDをみてトライアスロンのことを勉強したり、事前に選手用の市内地図を作成したり、美味しいお店や選手への情報集めに余念がなかった。そのせいかすっかりトライアスロンファンになった方が多かった。また大会後もなにかにつけて集まり英会話やおしゃべりをたのしんでいるそうである。

コンビニで水が買いたかったが日本の硬貨がなくて困っていた選手にお金をあげたところ、わざわざその方のお店を訪ねてお礼にきたと大変感激されていた。

外国人選手たちには焼肉、レンタルビデオが大人気。その他コンビニ、スーパーも外国人選手で大変賑わい、いつもの蒲郡とは少し違う雰囲気をももたしていた。

世界初のナイトレースはとても幻想的で素晴らしかった。参加した選手たちも大いに絶賛していた。

キッズアクアスロンに参加した選手はウェルカムパーティーを楽しむ選手と握手を交わしたり、写真を撮ってもらったりと大興奮であった。この中から将来のオリンピック選手が誕生することを期待したい。

参加した選手、関係者は口をそろえて、日本の大会の運営の素晴らしさとホスピタリティを褒めたたえ、大会の成功を祝い、感謝の言葉を残し旅立っていった。

メディカルチーム  
(日赤 & 通訳ボランティア)





市内看板



< 大会広報活動 >

各種情報誌への掲載

**海のイベント**

**三河大島いかだレース大会**  
開催日:平成17年7月3日(日)  
竹島～三河大島～竹島  
海に降る「しまより風」を再創しようと呼びかけた大会で、手酌のいかだが三河湾に浮かび三河大島を往復します。

**2005 ITU トライアスロン世界選手権 蒲郡大会**  
開催日:平成17年9月10日(土)・11日(日)  
ラグーナ蒲郡(予定)  
世界14箇国で行われるワールドカップの上位者だけが参加できる世界最高峰のレースです。この世界選手権がアジアで初めて、ここ蒲郡で開催されます。

**国際セーリングシリーズ** 愛知県蒲郡市を中心とする三河湾内にて、愛・地球博記念国際セーリングシリーズを開催します。

- ◆総合式 日程:2005.4.14
- ◆2005 東シナ海横断、フォーミュラウィンドサーフィン編 アジア選手権大会 日程:2005.4.29～5.5
- ◆2005 セーリングズピクニックセーリングゲームズ 日程:2005.5.1～5.5
- ◆国際J・D4セーリングフィーク 日程:2005.5.29～6.12
- ◆蒲郡シンボリック 日程:2005.7.18
- ◆こどもセーリングキャンプ 日程:2005.7.22～8.28(8日・土・日)
- ◆第42回 国際スナイプ3ネット世界選手権大会 日程:2005.7.23～7.31
- ◆国際文化日本ユニアネットクラブ競技会 日程:2005.8.6～6.7
- ◆体験乗船 日程:2005.8月～8月下旬(土・日)
- ◆アニスコナーカップ 日程:2005.9.18
- ◆ジャパンカップ 日程:2005.9.19～9.25
- ◆総合式 日程:2005.9.25

主催:蒲郡市国際セーリングシリーズ推進協議会 0666-63-7645

## < 三河湾健康マラソンでのPR (2004.2.13) >



## < 通訳ボランティア英会話教室 >



講師のジュディ先生(国際交流員)左



# 競技ボランティア (敬称略・五十音順)

青山 智彦	岩迫 恭子	小田加代子	小林 かず子	鈴木 寿明	布目 久仁雄	松下 美代子
青山 年廣	岩瀬 圭一	小田 佳令	小林 大輔	鈴木 昌彦	野田 豊	松野 照子
青山 裕美子	岩瀬 徳昭	小田 佐江子	小林 忠久	瀬戸 利嗣	橋本 フミ子	松橋 恭子
朝倉 康子	岩瀬 弘征	小田 哲平	小林 政昭	千賀登志恵	蜂須賀 清廣	松山 喜一
浅沼 順也	岩瀬 正義	小田 登志夫	小林 正俊	高木 祐美子	服部 又一	丸山 文香
浅野 修司	岩月 礼子	小田 豊治	小林 正充	高須 一嘉	羽田 典央	三浦 直之
麻生 照夫	植田 康裕	小田 典正	小林 優	高田 眞歳	早川 香里	三浦 美也子
足立 京司	氏原 良浩	小田 勝	小山 豊子	高津 秀夫	林 幹人	三浦 裕子
足立 茂	内田 智子	小田 光子	近藤 尊夫	高橋 保巳	林 優子	水足 健
足立 竜作	内田 泰昌	小田島世史子	近藤 民子	高原 弘	原 浩之	水野 一二
渥美 寿雄	宇野 源一	小野 香代子	近藤 利志夫	竹内 一枝	原田 久雄	水野 新一
安部 佐都美	馬上一郎	小野 初美	近藤 学	竹内 恵子	半田 富男	水野 恒久
天野 達夫	大島 須栄子	小柳津 章弘	近藤 泰敏	竹内 知恵子	東野 遼一	宮川 武士
新井 俊雄	大島 富士弥	小柳津 喜央	近藤 やよい	竹内 則裕	樋口 ひとみ	宮田 貴裕
荒島 康行	大島 有規子	小柳津 敬子	近藤 優	竹内 良徳	彦坂 孝一	宮地 紀元
飯島 正三	大須賀 信裕	角田 仁	近藤 由行	竹本 初夫	飛田 郁乃	宮野 洋三
飯星 潤一	大須賀 林	加藤 昭雄	酒井 隆	田島 勅	平河 天弘	宮本 勝英
生田 良三	太田 悦可	加藤 功	酒井 なみ子	多田 敦	平下 澄子	向井 嘉都子
石川 俊夫	太田 浩二	加藤 寿則	酒井 雅子	田中 典子	平野 正子	村瀬 紀枝
石川 裕章	太田 晴美	加藤 敏治	坂川 建二	田中 雅樹	広浜 靖人	村田 誠司
石川 文雄	大嶽 繁高	金田 弘子	坂口 登	谷津 広信	深江 文彦	村松 千恵
石川 裕子	大竹 昇	金田 光司	坂部 和子	玉越 康夫	深谷 芳伸	村松 由香
石黒 光功	大場 明子	壁谷 恵子	坂本 博之	土屋 育巳	福井 勇気	村松 幸雄
磯貝 太三	大場美智代	壁谷 貴雄	佐々木 恵子	寺部 紘一	福岡 輝雄	村本 悦子
磯貝 みどり	大場由美子	壁谷 博幹	佐藤 和子	遠山 宗次郎	藤田 俊雄	持木 哲也
磯部 裕之	大場 陽子	壁谷 保孝	佐藤 善之	徳永 英樹	藤高 克純	矢田 悟
市川 朝子	大橋 康弘	壁谷 芳子	佐野 由美子	飛田 正実	藤原 茂朗	宿谷 和彦
市川 幸樹	大山 守宅	神谷 洋行	佐山 陽子	富田 恵美子	星野 明秀	山内 智子
市川 貴子	小笠原 和朗	神田 加枝	沢田 紀代子	鳥居 定広	星野 郁保	山口 勤
市川 高義	小笠原 博子	喚田 孝博	鹿倉 信子	鳥井 政直	星野 幸治	山口 奈那子
市川 正典	小笠原 祐子	北沢 弘江	柴田 恵子	内藤 ゆかり	星野 みどり	山崎 茂冬
市川 益美	岡田由美子	北野 和彦	柴田 哲生	直井 和久	細井 真純	山崎 都矢子
市川 美加	岡田 洋子	北野 祐子	柴田 典幸	中垣 富美子	本多 映美	山田 和彦
市川 みゆき	岡部 浩文	北林 晋	柴田 文江	仲神 幸立	本多 啓子	山田 邦永
市川 葉子	岡本 福治	木俣 順生	柴田 真智子	中川 勝美	本多 弘	山本 和子
伊藤 薫	奥田 明美	木俣 智晴	柴田 吉信	中川 直洋	本多 誠	山本 欣司
伊藤 保	尾崎 幸子	木俣 正明	嶋 幸子	中川 洋輔	前田 和弘	山本 敬子
伊藤 近代	尾崎 大樹	木村 幸夫	島本 英二	中北 勝	牧野 明美	山本 さよみ
伊藤 昌方	尾崎 妙子	楠 成之	下川 兼一	中嶋 幸代	牧野 行男	山本 哲也
伊藤 勝	尾崎 卓郎	熊谷 文宏	白井 道男	中瀬 基文	牧野 光義	山本 俊雄
伊藤 百合子	尾崎 智恵乃	来本 貴裕	杉浦 勝元	中野 尊昭	牧野 充	山本 浩正
伊藤 洋子	尾崎 直美	倉岡 イツヨ	杉浦 恵子	中村 恭子	牧原 紀久代	山本 正之
稲垣 英二	尾崎 典子	倉岡 和彦	杉本 一十	中村 拓生	牧原 ケン	山本 幹仁
稲垣 義男	尾崎 正和	黒部 よし子	杉本 とく	中村 素子	牧原 浩紀	山本 美昭
稲吉 将康	尾崎 正美	桑名 成之	鈴木 恭子	永谷 恵	牧原文江	山本 佳樹
稲吉 千年	尾崎 美智代	小池 信明	鈴木 気和	永谷 梨絵	牧原 みち子	吉見 清勝
稲吉 学	尾崎 洋子	小塚 廣巳	鈴木 孝和	並川 賢一	牧原 ゆかり	吉見 豊子
井上 和也	尾崎 義広	小橋 信也	鈴木 孝佳	新見 勉	間瀬 研司	吉見 裕子
井上 智久	長田 正子	小早川 知亜紀	鈴木 哲朗	西浦 透	松井 和枝	吉村 慶子
今泉 英子	長田 吉正	小早川 泰宏	鈴木 俊悦	西浦 正勝	松井 洋一	渡辺 周司
						渡辺 隆喜
						渡辺 高志

# 審判・支援スタッフ (敬称略・順不同)

## < 愛知県トライアスロン協会 >

梶田長吉	高柳光浩
河原崎桂子	寺澤里咲
中野 誠	小島錠二
因田良幸	市古靖男
世賀勘一	岡田良平
大沢幸代	吉田健二
吉野英治	青山和枝
吉村隆男	斉藤よしのり
三宅正彦	ジェニファー西尾
小嶋俊久	渡辺孝治
近藤高雄	岩崎康生
鈴木朗人	渡辺広信
牛島章博	蒲原康彦
小嶋珠子	近藤琢也
廣濱之雄	大島強
深谷清弘	植濃典子
座馬彰	橋本 崇
スコット トレント	對馬慶二
渡辺郁	斉藤大輝
川原和彦	
吉川朋子	
中川路	
今枝誠	
豊島耕	
中川絵里	
山口清	
八木健	
藤岡雅子	
内山誠	

愛知県ライフセービングクラブ

特別協力: 蒲郡市秘書課広報

## < 全国支援スタッフ >

原田耕介	小野塚孝
尾崎安博	山岸 香苗
竹内美幸	霜鳥祥子
八百山雅美	小林洋
荒川和也	中村恵一
高橋 透	荻原政吉
園川峰紀	末光 浩美
水野晴夫	長谷川満彦
中島安興	橋立英雄
山本順子	鳥羽祐二
大沼陽子	青沼修二
高橋悟	小金澤光司
本保正善	込山雅視
船山公夫	笠次良爾
斉藤昌美	大橋章子
佐藤鶴英	大橋功直
西林真夕	山本孝児
田中亜矢子	渡守俊子
渡邊 仁	加納秀幸
不破健二	小野恵子
不破真理子	小梢由美子
西野和美	佐々部順
坂井田泰孝	森盛幸
國井剛	浅利
水戸千恵	佐藤倫郎
打田静夫	今井雅弘
光山 勲	若松
佐々木正晃	越川里香
遠藤保行	堀之内靖彦
宮西万衛	坪倉紀子
中村研二	荻庄則幸
	望月均
	西本宏

# 通訳ボランティア (敬称略・五十音)

荒島雅代	鈴木敦子
安藤和子	鈴木慶三郎
石原智美	鈴木智里
伊藤麻紀	鈴木八枝子
今泉武典	高島雅子
大竹 里佳	高橋紀子
大場亜衣子	竹内佳奈子
大森典子	竹内苗織子
尾崎温子	田中美和
尾崎容子	鳥居綾子
加藤美由紀	中山郁子
金田真理子	夏目政世
金田由里子	夏目優子
壁谷新子	橋本康市
壁谷文子	橋本昌子
釜崎孝子	畠山敦樹
釜崎千賀子	畠山佐由合
河合 紀美	畠山智樹
岸田まさよ	八田尚之
城所郁衣	広中一正
黒部有希	星野吾一
小山清子	本多利枝子
齊藤浩子	牧野国男
柴田圭介	丸山たか子
柴田里美	丸山宏子
柴田裕美	宮下喜美子
鈴木晶恵	村田未来
	守山敦子
	山中梓
	山本淳子
	和賀加余子
	鈴木 志寿恵
	福井 清子



< 写真提供 >

高崎聡・西谷光代(JTU広報委員)  
蒲郡市秘書課広報

< 編集 >

鈴木貴里代(大会事務局)